広報 KOUHOU MIBU

壬生 MIBU

No.557
10月号
2005

交通安全 子どもたちは訴える!

主な内容

●平成16年度決算報告	2～7
●第8回壬生町中学生海外派遣事業	8～11
●農業者年金制度	12～13
●第30回交通安全町民大会	14～15

秋の交通安全期間中の9月25日、町中央公民館大ホールにおいて、第30回交通安全町民大会を開催しました。表紙を飾っているのは、同大会が町内の小・中学校児童生徒を対象に募集し、最優秀賞に輝いた学年別の作品です。（関連記事14～15頁）

発行／壬生町役場　〒321-0292　栃木県下都賀郡壬生町通町12番22号　編集／総務部企画財政課広報広聴係　☎0282-81-1812　毎月23日発行
ホームページアドレス http://www.town.mibu.tochigi.jp　FAX0282-82-8262

平成16年度一般会計決算額

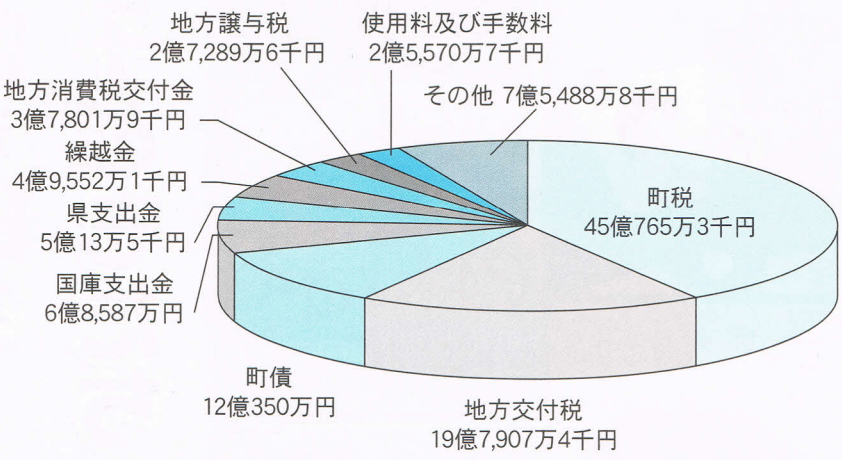
106億1,325万9千円

町では、町民の皆様に町の財政がどのようになっているかを知っていただくために、財政状況を公表しています。

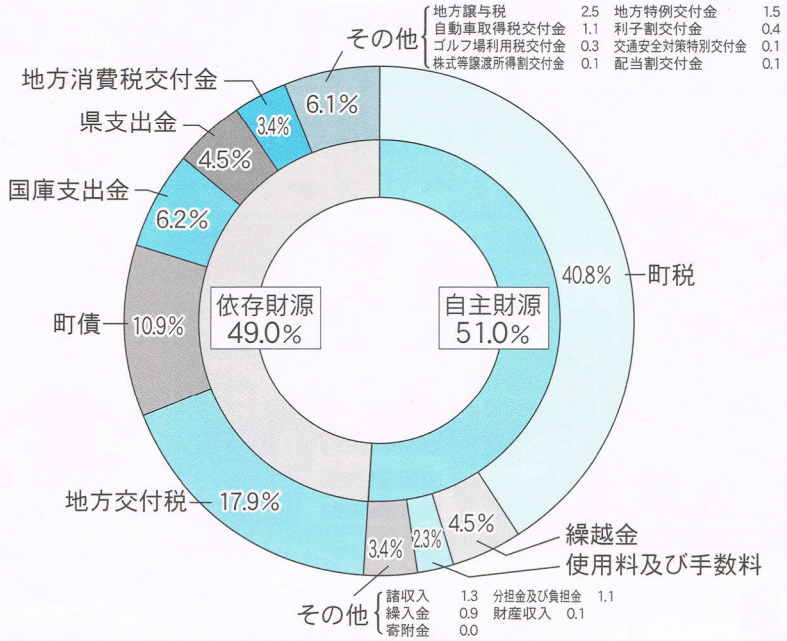
今回は、皆さんからお預かりした、税金等のお金がどのように使われ、利用されたのかを知ることができる決算についてご報告いたします。

歳入の内訳

合計　110億3,326万３千円



歳入の内訳（財源区分別）



●自主財源　地方公共団体が自主的に収入しうる財源。

●依存財源　国・県の意志により定められた額を交付されたり、割り当てられたりする収入のこと。

収入にしめる自主財源の割合が大きいほど、その団体の財政運営の自主性・安定性が確保されます。

●一般会計決算の概要

平成16年度の当初予算は、引き続き財政の健全性を維持することを念頭に置きながら、町内経済の活性化への積極的な取り組みはもとより、少子高齢化社会に対処する福祉施策や、人づくりの基本である教育問題、身近な社会資本の整備など、当面する緊要な課題に全力を挙げて取り組むこととし、限られた財源の効率的な配分に努めて編成しました。

平成16年度の当初予算は１０８億５，０００万円で、その後発生した行政需要及び国・県支出金の増減などに対応し、４回の補正を行い、最終予算額は、平成15年度からの繰越明許費を含め１０９億３０７万３千円となりました。

その結果、平成16年度の一般会計決算額は、歳入総額１１０億３，３２６万３千円、歳出総額１０６億１，３２５万９千円となり、前年度と比較して歳入が、５億３，２４７万３千円（５・１％）、歳出が６億７９９万円（６・１％）とそれぞれ増額となりました。

増額の主な理由としては、借換債（減税補てん債）の実施によるものです。

壬生町の家計簿

町のお金は何に使われているの！

町民一人当たりが負担した町税

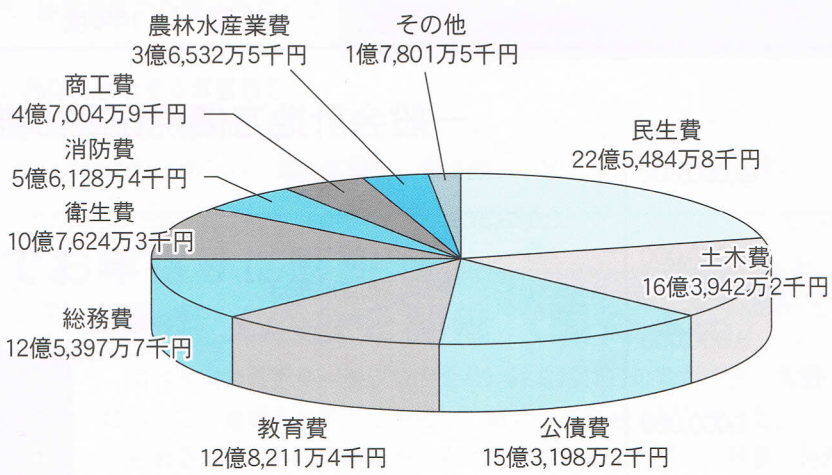
（単位：円）

区分	一世帯当たりの負担額	一人当たりの負担額
町民税	129,608	44,336
固定資産税	158,377	54,177
軽自動車税	3,507	1,200
町たばこ税	16,982	5,809
都市計画税	21,846	7,473

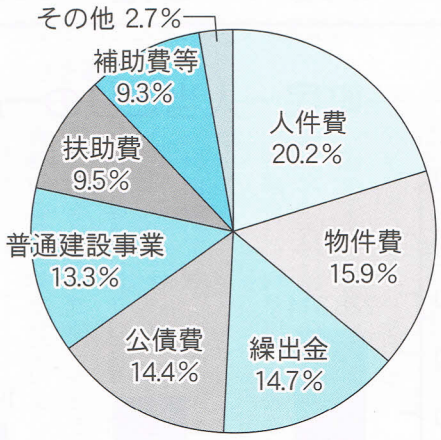
H17. 3. 31現在　13, 644世帯
住基人口　39, 886人

歳出の内訳

合計　106億1,325万９千円



歳出の内訳（性質別経費）



町有財産

主な町の財産は次のものです

- 並木杉　１本
- 建物　124,598.47㎡
- 土地　1,330,243.37㎡
- 出資金　5,066万7千円
  - 壬生町施設振興公社出捐金
  - 栃木県信用保証協会出捐金
  - その他
- 基金 41億5,164万1千円
  - （主な基金）
  - 財政調整基金　10億3,834万円
  - 減債基金　4億1,589万9千円
  - 庁舎建設基金　13億2,616万9千円

一般会計決算額の推移

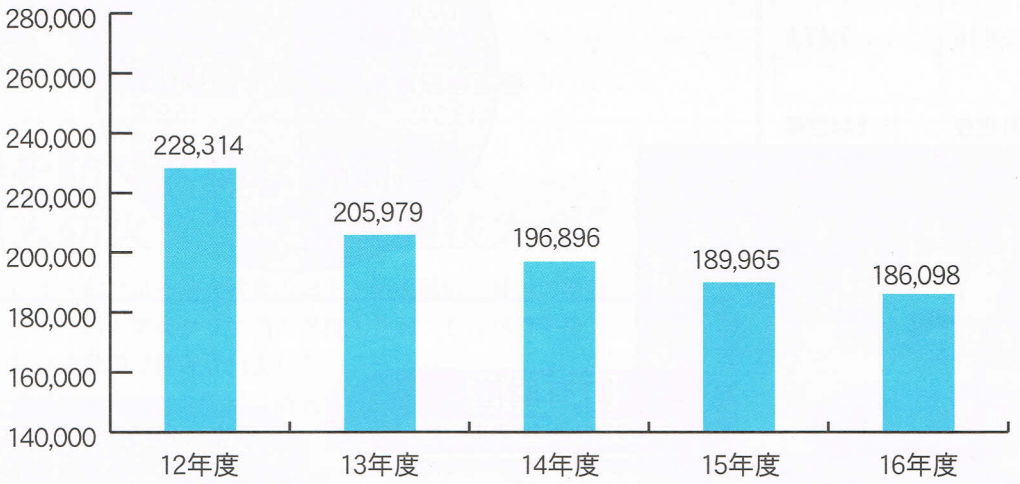
（単位：百万円）

一般会計地方債現在高の推移

（単位：千円）

町民一人当たりの一般会計地方債現在高

（単位：円）



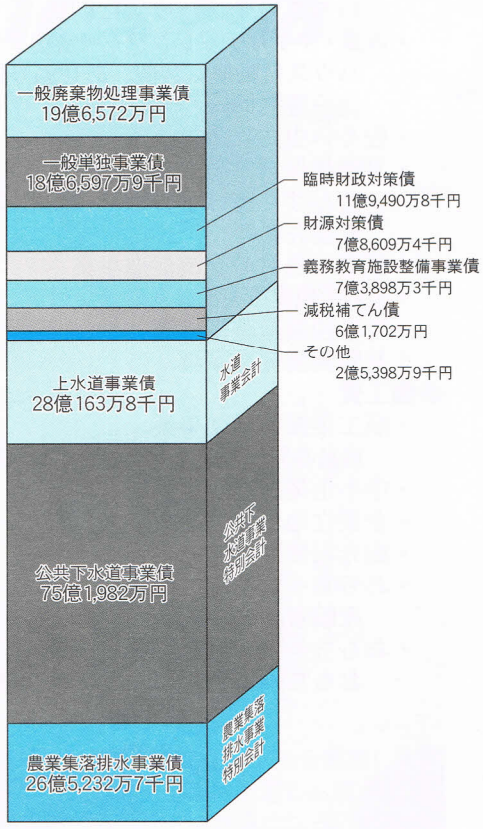
県内市町村で比較してみると、44市町村中、地方債現在高は多い方から20番目であります。一人当たりの現在高は少ない方から２番目であります。

※ただし、人口は平成16年３月の住民基本台帳による。

主な財政分析指標

項　目	平成16年度	説　明
財政力指数	0.697	財政力指数が「1」に近いほど財源に余裕があり、「1」を超えると地方交付税の不交付団体となります。 平成16年度決算時では、県内で25番目となっています。
経常収支比率	83.9	団体の財政構造の弾力性を測定する比率として使われ、適正水準は、一般に70～80％と考えられています。 平成16年度の県平均は、87.4％となっています。
公債費比率	11.5	地方債を借り入れた場合、毎年元金と利息の支払いが必要になります。これを公債費といい、この公債費の一般財源に占める割合を公債費比率と言います。
起債制限比率	5.1	地方債の許可に係る指標のひとつで、20％を超えると、その超える段階ごとに起債が制限されます。平成16年度決算時では、県内で最も低い数値を示しています。 平成16年度の県平均は9.7％となっています。

地方債現在高（平成16年度末現在）



特別会計の決算状況

会計名	歳入	歳出	繰越金
国民健康保険特別会計	37億2,259万6千円	35億840万6千円	2億1,419万円
公共下水道事業特別会計	14億8,080万7千円	14億7,129万9千円	950万8千円
奨学資金特別会計	242万1千円	165万円	77万1千円
老人保健事業特別会計	29億5,133万1千円	29億886万9千円	4,246万2千円
介護保険事業特別会計	13億4,490万6千円	13億2,681万2千円	1,809万4千円
農業集落排水事業特別会計	3億1,395万7千円	3億625万2千円	770万5千円

水道事業会計	収益的収入 5億5,100万8千円	収益的支出 4億7,539万円	特別損失 482万円	純利益 7,079万8千円
	資本的収入 9,367万2千円	資本的支出 3億2,688万9千円	※ 収支不足額 2億3,321万7千円	

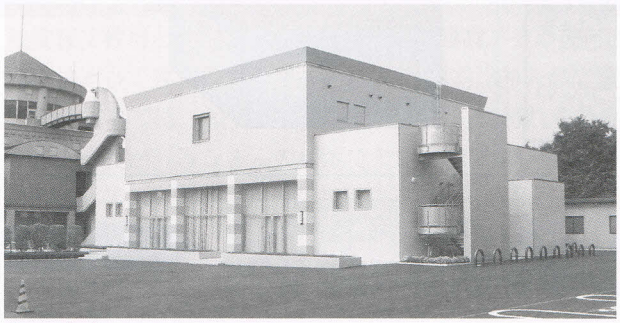
※　資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額は、過年度分損益勘定留保資金、当年度分損益勘定留保資金及び、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額で補てんしました。

●農林水産業費

・水田農業構造改革対策事業　2,895千円
・とちぎの園芸活性化対策事業　8,233千円
　いちごパイプハウスに助成
・みぶ・アグリチャレンジャー支援事業　11,959千円
　ハウス自動換気装置、あぜぬり機、ロールベーラー等に助成
・松くい虫防除事業　3,685千円
・平地林保全対策事業　6,343千円
　わんぱく睦っ子の森、わんぱく北っ子の森管理委託料等
・都市と農村の交流促進事業　1,897千円
・担い手規模拡大推進事業（交付者 43人）　959千円
・町単独農道整備事業　4,030千円
・基盤整備促進事業　20,426千円

●商工費

・商工業振興補助事業　33,392千円
　商品券発行事業、蘭学通りまつり等に対して助成
・中小企業融資制度事業　69,112千円
・企業立地奨励補助事業　3,760千円
・観光振興団体助成事業　13,000千円
・おもちゃ博物館維持管理事業　492千円
　入館者　115,794人
・おもちゃ博物館施設整備事業　236,868千円
　おもちゃ博物館ジオラマ棟の建設を実施



●土木費

・町道管理事業　15,108千円
・町道修繕事業　53,989千円
・壬生インター北通り（No.2－565号線）　97,556千円
・No.2－327号線　10,112千円
・一級町道９号線　18,867千円
・一級町道11号線　82,772千円
・町単独道路整備事業　265,408千円
・御里土地区画整理事業　61,806千円
・安塚駅西広場整備事業　73,914千円
・総合公園維持管理事業　38,610千円
・東雲公園維持管理事業　44,106千円
　ふれあい交流館利用者 42,481人
・小中規模公園整備事業　2,275千円
・聖地公園整備事業　15,761千円
・全町緑化推進事業　4,722千円
・北関東自動車道休憩施設及周辺開発整備事業　3,562千円
　ハイウェイオアシス整備基本計画見直し業務委託料等
・町営住宅改修等工事　30,282千円
　町営住宅階段手摺設置工事設計業務委託料、町営ひばりヶ丘団地平屋住宅解体工事等

●消防費

・石橋地区消防組合負担金　488,546千円
・防火水槽整備事業　10,998千円
　安塚、本丸一丁目地内

●教育費

・外国語指導助手配置事業（外国語指導助手２名）　8,492千円
・非常勤講師配置事業　23,500千円
・小学校施設改修等工事　46,855千円
　壬生小消火設備及び給水ポンプ設備改修工事、安塚小学校舎及び体育館耐震診断業務委託料等
・情報教育推進事業（小学校）　12,235千円
　パソコン賃借料、保守点検委託料等
・非常勤講師配置事業　6,328千円
・中学校施設改修等工事　29,435千円
　壬生中屋内運動場屋根及び外壁改修工事、南犬飼中校舎及び体育館耐震診断業務委託料等
・情報教育推進事業（中学校）　8,121千円
　学習用パソコン賃借料、保守点検委託料等
・マイ・チャレンジ推進事業　2,217千円
・中学生国際交流推進事業　8,504千円
　オーストラリアへ28名派遣
・幼稚園就園奨励費補助事業　37,108千円
・すこやか子育て支援事業　11,859千円
・みぶ・ホリデーアクションプラン事業　2,185千円
　子ども遊び学び塾、心の教育出前講座、宿泊研修、その他
・音楽鑑賞会開催等委託事業　40,327千円
　ニコライ・ルガンスキーピアノリサイタル、ウィーン少年合唱団、プラハ放送交響楽団＆ミッシャ・マイスキー、その他
・中央公民館改修等工事　95,004千円
　中央公民館等空調設備改修工事等
・図書等購入事業　7,786千円
　利用者数 51,751人　貸出件数 207,046点
　16年度末現在の所蔵資料 171,650点
・企画展等開催事業　5,599千円
　企画展「古今随一の名行司と名力士」
　特別展「柊あおい　耳をすませば」
・埋蔵文化財発掘調査事業　2,071千円
　亀塚古墳発掘調査
・生涯学習館各種講座等開催事業　2,966千円
　親子ふれあい教室、ハーブ・ビーズ教室、その他
・情報通信技術（IT）講習推進事業　2,834千円
　IT 基礎講習、ワード・エクセル講習、その他
・運動場維持管理事業　22,478千円
　利用者数 運動広場 34,610人 体育館 23,322人 武道館 9,436人 テニスコート 21,952人 トレーニングルーム 3,123人
・運動場改修等工事　15,897千円
　体育館外壁（東・南面）塗装工事、総合運動場西駐車場整備・排水路設置工事等
・ふれあいプール維持管理事業　40,669千円
　利用者数　53,383人
・ふれあいプール改修等工事　15,771千円
　休憩所内トイレ増設工事、放送設備改修工事等

●災害復旧費

・農業用施設災害復旧事業　126千円
　福和田地区災害復旧工事

●諸支出金

・土地建物取得事業　8,746千円
　土地購入費（150.8㎡）

平成16年度の主な事業実績

●議会費

・議員研修事業　1,830千円
・議会だより発行事業　年４回発行　2,436千円

●総務費

・広報発行事業　17,321千円
　広報壬生・毎月23日発行、広報みぶお知らせ版・毎月８日・23日発行
・庁舎維持管理事業　27,823千円
・庁舎改修等工事　755千円
　議場改修（対面式）工事、教育委員会照明増設工事等
・公用車購入事業　2,056千円
　ライトバン　２台購入
・第５次総合振興計画策定事業　4,260千円
・情報化推進事業　37,576千円
　パソコン 13台・プリンタ ２台購入、セキュリティポリシー作成業務委託料、保守管理費等
・交通安全施設整備事業　4,421千円
　道路反射鏡等設置
・おもちゃのまち駅自転車駐車場管理事業　9,114千円
・防犯灯維持管理事業　9,297千円
・防犯灯新設事業　2,992千円
・徴収嘱託員設置事業　嘱託員　２名　3,692千円
・納税奨励事業　35,027千円
　全期前納報償金、納税組合補助金
・固定資産税課税用資料整備事業　19,455千円
・参議院議員通常選挙費　14,711千円
・栃木県知事選挙費　13,294千円

●民生費

・社会福祉協議会育成事業　24,646千円
・敬老金支給事業（対象者 2,633人）　24,586千円
・老人保護措置事業（措置者 13人）　26,792千円
・高齢者家庭介護者助成事業（利用者 279人）　13,938千円
・紙おむつ給付事業（利用者 486人）　13,128千円
・シルバー人材センター育成事業　10,927千円
・外出支援サービス事業（利用者 144人）　2,000千円
・寝具洗濯乾燥消毒事業（利用者 74人）　1,112千円
・配食サービス事業（利用者 193人）　5,247千円
・生きがい活動支援通所事業（延利用者 1,950人）　3,000千円
・在宅介護支援事業　2,274千円
　実態把握 806件　介護予防プラン作成 49件
・介護保険低所得者利用者負担対策事業（対象者 39人）　1,034千円
・富士見荘維持管理事業（利用者 4,015人）　2,309千円
・授産施設むつみの森維持管理事業　53,710千円
・重度心身障害者医療費助成事業　50,462千円
・身体障害者施設訓練等支援事業　65,154千円
・知的障害者施設訓練等支援事業　179,233千円
・民間保育園委託事業　241,708千円
　ありんこ保育園、壬生寺保育園、メリーランド保育園に委託
・民間保育園運営費等補助事業　3,000千円
　ありんこ保育園、壬生寺保育園、メリーランド保育園に助成
・広域保育委託事業　16,474千円
・特別保育事業等推進費補助事業　72,546千円
　ありんこ保育園、壬生寺保育園、メリーランド保育園に助成
・民間育児サービス対策補助事業　3,086千円
　さくらんぼ保育園、森の子保育園に助成
・放課後児童健全育成事業　8,642千円
　メリーランド児童クラブ、どんぐり児童クラブ、壬生寺児童クラブ、森の子児童クラブに委託
・児童手当扶助事業　160,891千円
・すこやか子育て支援事業（34人）　3,400千円
・幼児用補助装置購入費補助事業（207件）　3,071千円
・次世代育成支援行動計画策定事業　1,820千円
・乳幼児医療費助成事業　55,640千円
・妊産婦医療費助成事業　12,743千円
・障害児通園ホームドリームキッズ管理運営事業　3,318千円
・子育て支援センター管理運営事業　919千円
　平成16年10月開設・未就学児と保護者に対し、子育て相談や、遊びの提供を実施

●衛生費

・在宅当番医師委託事業　2,040千円
・斎場負担金　6,835千円
・健康ふくしまつり開催事業　2,250千円
・予防接種事業　36,851千円
　（麻疹、風疹、三種混合、日本脳炎、インフルエンザ）
・健康診査事業（基本健診、ガン検診等）　66,158千円
・母子健診事業　9,341千円
　（乳幼児健診、幼児歯科健診、妊婦健診）
・ふれあいブックスタート支援事業　331千円
・墓園維持管理事業　6,080千円
・環境保全対策事業　6,693千円
　河川水及び特定事業場排水分析、ゴルフ場農薬環境影響調査等
・浄化槽設置補助事業（38基補助）　9,978千円
・地球温暖化防止実行計画策定事業　2,310千円
・資源ごみ回収関係報償事業　7,310千円
　資源ごみ 536ｔ、ペットボトル 1,652,524本
・清掃センター維持管理事業　123,056千円
　焼却施設用薬剤、燃料費等
・焼却施設運転管理業務委託事業　53,760千円
・ごみ収集及び運搬業務委託事業　93,542千円
・不燃・粗大ごみ等中間処理業務委託事業　63,654千円
・清掃センター排ガス処理施設整備事業　47,880千円
　焼却施設触媒反応塔内触媒交換工事
・環境センター維持管理事業　9,762千円
・浸出水処理施設運転管理業務委託事業　15,624千円
・クリーンセンター維持管理事業　33,912千円
・し尿処理施設運転管理委託事業　24,381千円

●労働費

・勤労青少年ホーム各種教養講座開催事業　2,383千円
　全11講座、258回開催

壬生町中学生、オーストラリアへ派遣

－第８回壬生町中学生海外派遣事業－

シドニーのビルを背に

ホストファミリーとの思い出と現地での貴重な体験を胸に帰国

壬生町中学生海外派遣事業が、７月30日から８月７日の９日間の日程で実施されました。

この事業は、中学生を海外に派遣し、ホストファミリーとの生活、語学学校や交流校の先生や生徒との交流を通じて、国際感覚豊かな青少年の育成と国際交流の推進を図ることを目的として実施しています。

このたび、オーストラリアのシドニーへの派遣事業に参加した、中学２年生28名から、期間中の出来事や感想などが寄せられましたので、ご紹介します。

派遣団員（敬称略）

団　長　鈴木　善雄（壬生中学校長）
団長補佐　山口　英子（南犬飼中学校教諭）
団　員

早乙女大貴（壬生中）　出井　辰哉（南犬飼中）
平本　謙太（〃）　保沢龍之介（〃）
矢板　理志（〃）　吉葉　尚紀（〃）
増山　智也（〃）　横塚　直人（〃）
荒木　翔伍（〃）　日下　哲志（〃）
小野口雄祐（〃）　石島由美子（〃）
福田　裕士（〃）　佐瀬　萌子（〃）
針ヶ谷真理（〃）　佐藤　結香（〃）
榎本　早希（〃）　高橋　彩香（〃）
須釜　千晴（〃）　粂川　紘慧（〃）
吉井　彩華（〃）　粂川　成美（〃）
高田　　円（〃）　熊倉　　瞳（〃）
楡木　晴佳（〃）　刀川　美穂（〃）
長　真貴子（〃）
甫坂　聡美（〃）

７月30日　出発式　成田空港から出発

今日は午前２時集合で出発式を行いました。出発式では派遣団を代表して鈴木善雄団長と南犬飼中の佐藤結花さんがあいさつをしました。その言葉を聞いていよいよ出発するんだなと思い、気持ちがひきしまりました。その後バスで成田空港へ向かいました。途中で休憩をとり、そこから空港へ向かう時、歌の練習をしました。しかし、オーストラリアに行く緊張があるせいか、あまり声が出ませんでした。そうしているうちに成田空港へ到着し、８時40分に搭乗しました。ついに日本を発つのかと思っていると９時10分ごろ滑走路に移動して９時30分ついに離陸しました。その時ついにオーストラリアに向けて出発したんだと思いわくわくしてきました。

７月31日　シドニー到着　市内観光　ホストファミリーと対面

飛行機の中からかすかな明かりが出て目覚めました。そこはもう日本ではありませんでした。そして、その朝日は僕達を応援するように輝いていました。

飛行機から降り、空港を出ると、とても冷たい風がふいていました。そして、バスに乗り込み、市内観光へ行きました。まず、ボンダイビーチへ行きました。そこの砂は日本のものとは違い、白くサラサラしていました。

それから、語学学校へ行き、デュークさんの説明をうけました。説明の後、ホストファミリーと共に、それぞれの家庭へ向かいました。

みんな、期待と不安の入り混じった目をしていましたが、これからのホームステイに向けて、活き活きとした、とても良い目をしていたと思います。

8月1日 語学研修 徒歩とモノレールにて、シドニー水族館へ

今日は、授業が終わった後で、シドニー水族館へ行きました。水族館へは徒歩とモノレールで行きました。徒歩は、けっこう長い時間かかりました。町なみをよく見ることができて、疲れたけれどよかったと思いました。

水族館に入って最初に見たものはカモノハシでした。オーストラリアにしかいないと聞いていたので早く見たいと思っていました。カモノハシ以外にもワニやペンギン、サメ、カクレクマノミなどもいました。

めずらしい魚などもいて、日本の水族館とは一味違った水族館だったのでみんなも楽しんでいたと思います。もう一度行ってみたいと思う水族館でした。

8月2日 語学研修 スポーツ交流

今日はスポーツ交流校（ウエストフィールズスポーツハイスクール）に行き、サッカーやバスケのゲームをやりました。ウエストフィールズスポーツハイスクールの人達は、みんな日本語がとてもうまくて、びっくりしました。サッカーでは、2～5人でゲームをしました。みんな一生懸命にボールを追いかけていました。バスケは半面でミニゲームをやりました。その後、みんなでバーベキューを食べました。焼きたてのパンや焼き鳥がでてお腹が減っていたこともあって、とてもおいしかったです。

帰る前には、体育館に集まって剣道を見せたり、「もみじ」や「ウォルシングマチルダ」を歌いました。剣道は二人とも迫力があってみんな静かに集中して見入っていました。

みんなと仲良くなれてよかったです。

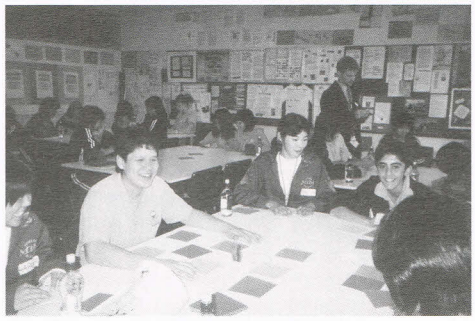
8月3日 語学研修 動物園

午後、動物園に向かいました。まず、最初は一人ずつコアラと写真をとりました。私は生まれて初めてコアラに触りました。コアラは、前まで一人ずつ抱くことができたけれど、そのコアラはストレスで普通のコアラの半分も生きることができないので今では抱くことができなくなってしまったそうです。

鳥のショーはすぐ真上に鳥が飛んでいて、驚きました。特に観客の腕に鳥がとまるという事は一番印象的でした。鳥も大変な訓練をたくさん受けてきたのだと思います。

クイズ形式で動物について詳しく楽しく学べました。今までの動物園は遊びに行くような所だと思ってましたが今回行った動物園で少し見方が変わりました。私はこの日から動物園が好きになりました。

8月4日 語学研修 文化交流



文化交流会で折り紙を教えました

今日は語学研修最後の日だった。修了証をもらった。そしてその後、全員で記念写真をとった。その後は個人的に写真をとったりサインをしてもらったりしていた。とてもなごりおしかった。

そしてその後に、ニュータウンハイスクールに行った。ニュータウンハイスクールには、日本語を少しわかる人が多かった。さらに日本語がペラペラな人が二人もいたので、とても驚いた。次にバレエを見た。その後に映画を見た。作者が主演をやっている映像を見た。さらにニュータウンハイスクールの映像があってすごいと思った。それとジャズダンスもあり日本ではありえないと思った。

今日はとてもすばらしい外国の学校のよさを知ることができた。

8月5日 ブルーマウンテン見学

ブルーマウンテンのロープウェーの中

海外派遣7日目、8時30分頃に語学学校へ集合し、ミカコさんのガイドでバスに乗り込みました。ブルーマウンテンまでは約1時間40分かかりました。ようやくブルーマウンテンに着くと、外はとても寒かったです。20分くらい自由行動がありました。景色をとったり、日本人に話しかけたりしました。

とても景色がキレイで感動しました。そして、またバスで移動してロープウェー乗り場まで行きました。ロープウェーは高すぎて怖かったです。ロープウェーを降りて森林を少し歩いて行くと今度はトロッコ乗り場に来ました。このトロッコはギネス記録にものっていて最高斜度が52度もあるそうです。実際に乗ってみると谷底へ落ちそうでした。

8月6日 ファミリーとの1日

8月6日は、それぞれお世話になったホストファミリーと過ごす、最後の1日でした。

私がお世話になったファミリーでは「MANLY BEACH（マンリービーチ）」という所に連れて行ってくれました。

ファミリーは最初に、周辺の海が見える場所に連れて行ってくれました。奇麗な海が広がっていて、とても感動しました。

それから、その場所の近くでお母さんが作ってきてくれたサンドイッチを食べました。

そして、マンリービーチを散歩したり、近くのお店で買い物したりしました。ビーチは水が澄んでいて、砂浜もとても奇麗で、日本とは全然違っていました。

ホテルに着くと、みんな悲しそうにしていました。ファミリーと別れるのが辛かったようでした。

8月7日 ホテルで起きて、バスで空港 飛行機で日本に帰国

9日目（最終日）。早朝目覚めた私達28名の海外派遣団。6時30分にロビーに集合して、とても忙しい朝食をとった。その後、バスに乗ってシドニー空港に行った。シドニー空港では、あわただしく色んな手続きをすませると、すぐに飛行機に乗った。ずっとシドニーに残っていたかったし、ホストファミリーを思い出すと、全然と言っていいほど飛行機に乗りたくなかった。けれどもそんなことも言っていられなく、9時間という長い空の旅が始まった。機内ではそれぞれ、思い出話に花をさかせる声が私の耳に届いてきた。私も、この9日間の色々なことを思い出していた。緊張しながら9日前に飛行機から降りた日のこと。リラックスし始め、ホストファミリーとうちとけられた日のこと。長かったようで短かかった9日間は、私の大切な思い出となった。

海外派遣に同行して 団長補佐　山口栄子

「I am japanese teacher.」オーストラリアでこの言葉を何回言ったことでしょう。やはり国語科の教師である私には、荷が重すぎるのではないかと不安を抱えつつ。しかしその度に、思いっきり明るい笑顔で「オーカイ!」（オーストラリアの英語＝オージーイングリッシュでは「オーケイ」をこう発音する。）と大きくうなずき手を差し出してくれました。オーストラリアの明るさと大きさを感じた瞬間でした。

第8回壬生町中学生海外派遣団の補佐役として、28名の好奇心と向上心にあふれた中学生の9日間の研修に同行させていただきました。事前学習から帰国式までの研修の様子と感想をここに報告させていただきます。

☆事前学習

6月19日から全5回の事前学習会を持ち、壬生町や日本文化についての紹介文作りから始まり、英会話やホームステイについての学習、交流校での発表の練習などを行いました。回を重ねるごとに生徒の意識が高まり、28人の仲間作りもできていきました。この学習会では英会話を中心に学習したのですが、英語科の高木先生から何度も繰り返し教えていただいたことは、言葉としての英語の力よりも①大きな声で話すこと。②はっきりと返事をすること③積極的に声をかけることの3点でした。オーストラリアに行ってこの3点の大切さを生徒たちは実感し、実践できたと思います。

☆語学研修

14名ずつ、2クラスに分かれての研修でした。初日、先生の感想は「とてもシャイですね。」でしたが修了式では「とても熱心に勉強しました。そして清潔好きで好感がもてました。」とのお言葉をいただくまでに成長しました。式後は先生方と写真を撮ったり、サインをしていただいたりと積極的に話しかけ、オージーの陽気さも学んだようでした。

☆交流学習

文化交流校・スポーツ交流校とも、とてもオープンな雰囲気で多くの生徒が「コンニチハ」「アリガト」など知っている日本語（おそらくこの1・2語しか知らない）で大きな声と笑顔で呼び掛けてくれ、交流の基本はこの積極的な姿勢と笑顔であると生徒とも学び、私たちはもっと自信を持って英語を口に出していこうと決意しました。

また、どちらの学校にも日本語を流暢に書き話す生徒がいて、司会と通訳を努めてくれていました。日本に留学していたそうです。生徒の人種も様々、2カ国語を話せる生徒も少なくないそうで、開かれた国であることを実感しました。

☆ホストファミリー

お世話になったお宅を訪問する機会がありました。会社を経営していらっしゃるというそのお宅はシドニー湾を見下ろす高台に建つ立派なお家でした。ホストマザーはいくつかの学校でカウンセラーをしていらっしゃり、具合の悪くなった生徒の心情を察して細やかな配慮をしてくださいました。本人も体調を崩したことは残念でしたがこのファミリーに出会えて本当に幸せだったと、心から感謝していました。他のお宅の様子を聞いてみても、どの生徒も暖かくむかえられ家族的な雰囲気に触れ、この9日間の研修でもっとも得るものの多い時間を過ごせたことと思います。

☆おわりに

生徒たちはこの9日間で、すっかりオーストラリアの虜になり、何人もの生徒が「将来は是非オーストラリアに住みたい。どうすれ

ばいいの？」と現地でガイドをしてくださったミカコさんに積極的に質問していました。ミカコさんはこう話してくれました。「まずは言葉。言葉ができないとどんなに大変か経験したよね。だから英語をしっかり勉強して、自分で働いてある程度の貯金を持つこと。この二つができたらオーストラリアに来て。そして1番大切なことはその夢を持ち続けることよ。」と。

この研修を通して多くの団員が自分なりの『夢』を持てたこと。これが何よりの収穫であったように感じます。最後になりましたが、このような素晴らしい機会を与えてくださり、支えてくださった関係者の皆様に心から感謝申し上げます。

語学研修を終えて、修了証を持って

第8回壬生町中学生海外派遣団

団長　鈴木善雄

この度、第8回となる壬生町国際交流事業の中学生海外派遣団の団長を壬生町教育委員会より委嘱され、オーストラリアのシドニーへの研修を行いました。

この事業の派遣者は、当初16名から始まり、回数を重ねるに従い20名、28名と増員されてきました。今回も昨年に続いて28名派遣と、町当局の教育に対する理解と期待を感じ取りました。

目的やシドニーにおける9日間の日程と活動内容は昨年とほぼ同様でしたが、変更された部分もあり、私自身、南半球へは初めての旅、しかも団長という立場であり、正直申し上げ出発前は不安でありました。しかし、全日程を予定通りに実施し、全員無事に帰国した今、充実感と安堵感でいっぱいです。

さて、オーストラリアのシドニーへの研修にあたって、6月5日から事前研修を行いました。第1回打ち合わせ会は、初めて派遣者全員と保護者並びに関係者が一堂に会し、今後の日程や内容の概略が説明され、いよいよ間近であるなあと実感しました。その後、事前の勉強会を5回実施し、日常英会話や交流校での歌の練習などを行いました。その際、南犬飼中学校の高木、亀山先生には大変お世話になりました。ありがとうございました。

そして、7月30日、健康面に多少の不安を抱えながら、真夏の日本から真冬のオーストラリアに出発しました。

5日間学んだ語学学校の先生からは、「学ぶ態度が素晴らしいです。」とお褒めの言葉をいただきました。「シャイな子が多いですね。」の感想の中に、「この子はがんばりましたよ。」と満面の笑顔で褒められた生徒もいました。何より心配だった現地校での交流でも、合唱や剣道など、練習の時以上のパフォーマンスを披露してくれました。ウエストフィールド・スポーツ校では、合唱などの予定は当初なかったのですが、幸い時間の都合もよくスポーツ交流（サッカー、バスケットボール）後、合唱と剣道を披露できたのが良かったと思いました。

校外研修では、世界遺産のブルーマウンテンの壮大な景観に圧倒され、水族館と動物園では、オーストラリアならではのカモノハシ、コアラ、カンガルー、タスマニアンデビルなどの固有種動物や珍獣うに触れたり見たりの貴重な体験ができました。環境保護や動物愛護については、国をあげての取り組みが伝わってきました。交流校でのエコ活動と合わせて、オーストラリアの人の『環境』への関心と姿勢を学びました。

それにしても、語学学校や交流校の先生と生徒、ホストファミリーの皆さんの温かいおもてなしには感激しました。それは生徒たちも十分感じていたようです。そうした内容は、生徒の報告をお読みくだされればご理解いただけるはずです。

期間中、体調を崩してしまった生徒がありましたが、添乗員の後藤さんの適切な判断と対応で大事に至らずに済みました。他に、語学学校研修における遅刻や生活上の小さなトラブルがありました。こうしたトラブルや失敗は、英語学習以前のことで、生徒たちは、普段の基本的な生活の大切さを感じたことでしょう。そして、〝体験して身に付けた力〟が大きな財産になったと思います。

また今回ホームステイ生活が6日間と、昨年より一日増えました。その上、ホームステイ最終日が土曜日で、ホストファミリーと一日過ごすことができたことも大きな成果です。夕刻、ホストファミリーにホテルまで送られ、別れ際は、涙、涙の別れになりました。それは、オーストラリアに家族ができた姿であり、ホームステイのよさを実感できる場面でした。

こうした数多くの成果は、生徒の頑張りはもとより、団長補佐の南犬飼中学校山口英子先生と福田観光社の添乗員の後藤さん（兼通訳）、並びに現地スペシャリティー・ランゲージ・センター（語学学校）のデュークさんをはじめ多くのスタッフの皆さんのお陰です。感謝申し上げます。

このような機会を与えてくださった壬生町の関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

新しい農業者年金に加入しませんか？

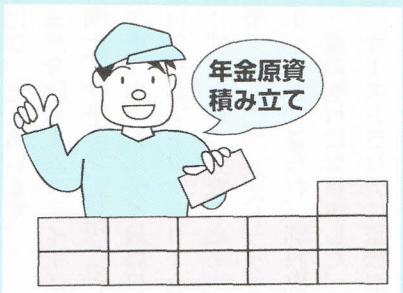
21世紀の日本は超高齢・人口減少社会になると予測されています。リタイヤ後の長い老後を安心して暮らすためには、若いうちからの備えが必要で年金への加入は欠かせません。新農業者年金は、少子高齢化が進んでいる状況下でも、長期的に安定する積み立て方式の年金制度を採用しています。つまり、「自分が積み立てたお金を国が運用し、老後になったら年金として受け取る」というものですので、安心して老後に年金が受け取れます。

メリット

★農業に従事する方は広く加入できます

国民年金の第１号被保険者で年間60日以上農業に従事する60歳未満の方は誰でも加入できます。農地を持っていない農業者や家族従事者も加入できます。脱退も自由です。脱退一時金は支給されませんが、加入期間にかかわらず、それまでに支払った保険料は将来年金として受け取れます。

★安定した年金の財政運営ができる仕組みです



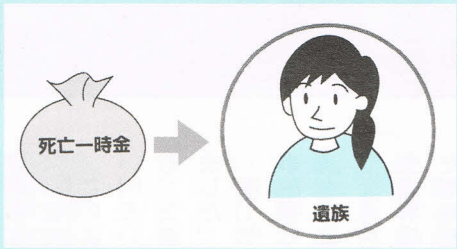
将来の年金受給に必要な原資をあらかじめ自分で積み立て、運用実績により受給額が決まる確定拠出型年金であるため、安定した年金の財政運営ができます。運用利回りの状況等に応じて保険料が引き上げられることはありません。

★保険料は自由に選択できます

毎月の保険料は20,000円を基本とし、最高67,000円まで1,000円単位で選択できます。それぞれの経済的な状況や老後設計などに応じて保険料を自由に設定でき、かつ、いつでも見直すことができます。

★80歳までの保証が付いた終身年金です

年金は終身受給できますが、仮に、加入者や受給者が80歳になる前に亡くなった場合は、死亡した月の翌月から80歳までに受け取るはずの農業者老齢年金を予定利率で割り戻した額を死亡一時金として遺族が受け取れます。

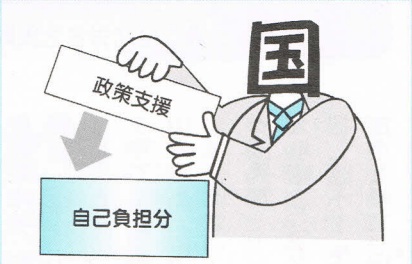


★税制面でのメリットがあります

保険料は全額社会保険料控除（所得控除）の対象となります。年金は公的年金等控除の対象となります。

★意欲ある担い手に保険料助成があります

60歳までに農業者年金に20年以上加入することが見込まれ、かつ認定農業者等一定の条件を満たす方は、基本となる保険料（20,000円）のうち、国から保険料助成（政策支援）があります。



◆**問い合わせ**／壬生町農業委員会　☎81－1875
農業者年金についてのパンフレットを用意しています。詳しく知りたい、資料がほしいという方はお問い合わせください。

マナーアップ！あなたが主役です

秋の交通安全運動期間中（9月21日～9月30日）の9月25日、壬生町、壬生町交通安全協会（坂田佐一郎会長）主催の壬生町交通安全町民大会が、中央公民館で開催されました。

8月末現在、県内の人身事故発生件数は9,901件、負傷者は12,927人、死者数は124人で、死者数においては昨年を上回るペースで増加しています。壬生町においては、人身事故158件、負傷者209人となっています。

最近の交通事故の傾向は、高齢者の割合が非常に高く、県内の死亡事故の40％を高齢者の事故が占めています。また、シートベルトやチャイルドシートの未着用や飲酒運転による事故も未だに減少していません。

このようななか、交通事故のない明るいまちづくりを推進しようと、交通安全町民大会が開催されました。

第1部の式典では、初めに交通事故犠牲者に対し黙祷を捧げた後、清水英世町長が「この大会を通して交通安全への理解と関心を深め、交通事故の抑止にさらに努めていただきたい。」とあいさつ。続いて菊池啓夫栃木警察署長あいさつの後、交通安全功労者や交通安全ポスター並びに作文入選者の表彰が行われました。作文で最優秀賞受賞者を代表して、稲葉小6年の小野口鈴菜さんと、南犬飼中1年の松田愛衣さんが朗読発表をしました。また、日頃お世話になっている警察官、交通指導員へ児童から花束が贈られ、最後に交通事故のない明るく住み良いまちづくりを願って「大会宣言」が読み上げられました。

第2部では壬生中学校吹奏楽部の演奏会が行われ、出席したみなさんはすばらしい演奏に、ひとときの安らぎを楽しんでいました。

交通安全功労者を表彰

交通安全功労者表彰・感謝状

（敬称略）

●功労表彰

金田恵介、大槁好夫、村山明久、澤田　憲、阿久津澄江、鈴木春子、篠原由美子、黒川フク、荒川千代

●功労団体表彰

稲葉下馬木老人クラブ　大橋なを

●感謝状

◇役員退任者

松嶋義雄、出井　清
野代敬治、澤田　憲

交通安全ポスター・作文入選者

（敬称略）

●ポスター

☆最優秀賞

伊藤彩貴（安塚小1年）、田邉京菜（稲葉小2年）、オオシタレアアンジェルアサヒ（安塚小3年）、佐藤奈津美（安塚小4年）、神長賢也（稲葉小5年）、毛塚智晶（壬生小6年）、高村香織（壬生中1年）、小嶋康修（壬生中2年）、山本水晶（南犬飼中3年）

☆優秀賞

大垣剛志（壬生北1年）、井上陽捺（睦小1年）、鹿沼礼奈（羽生田小2年）、臼井將眞（壬生北小2年）、小平麻由（壬生東小3年）、

石川竜也（稲葉小３年）、髙橋蓮（壬生小４年）、神永朋佳（稲葉小４年）、大島杏奈（稲葉小５年）、神永亮佑（羽生田小５年）、倉井雅裕（藤井小６年）、福田実紀（睦小６年）、大塲隆太（壬生中１年）、大山日和（南犬飼中１年）、清水祐佳（壬生中２年）、大森ほなみ（南犬飼中２年）、増田修哉（壬生中３年）、飯塚志帆（南犬飼中３年）

作文

☆最優秀賞

高橋伶奈（藤井小１年）、橋本直樹（藤井小２年）、石村英也（壬生東小３年）、粂川佳輝（壬生小４年）、丸山瑞季（壬生小５年）、小野口鈴菜（稲葉小６年）、松田愛衣（南犬飼中１年）

☆優秀賞

武関由貴（藤井小１年）、中村蓮（稲葉小２年）、細野琛（壬生北小２年）、高橋直也（壬生東小４年）、佐藤晴香（壬生北小４年）、荒井舞子（睦小５年）、荒川あずさ（睦小５年）、落合研斗（羽生田小６年）、亀田貴大（壬生北小６年）、渡辺直樹（南犬飼中１年）、粂川和毅（南犬飼中１年）

松田 愛衣さん
（南犬飼中１年）

小野口 鈴菜さん
（稲葉小６年）

交番所長・交通指導員へ花束贈呈

交通安全運動期間中　各啓発活動を実施

多発する高齢者の交通事故を無くそう！
――第12回高齢者交通安全のつどい――

９月27日、壬生町交通安全協会女性部（梁島ケイ子会長）主催による高齢者交通安全のつどいが、約１３０名の参加のもと、生涯学習館において開催されました。

梁島会長が、「高齢者の交通事故が増えています。みなさん出かけるときは十分気を付けてください。」とあいさつ。

この後、磯則夫栃木警察署交通総務係長が『高齢に関する交通事故防止対策について』と題した講演で、「高齢に伴い体力・判断力が低下していることを自覚して。夜間外出するときは明るい服装で、反射材（たすき等）を着用して事故防止に努めましょう。」との話を、参加者のみなさんは真剣に聞き入っていました。

交通安全パレード（藤井小）

交通安全指導（かすみ壬生店）

放置自転車の撤去（壬生駅前）

講演を熱心に聞く参加者のみなさん

「壬生町社会福祉法人等利用者負担額減免措置」の一部改正のお知らせ

10月１日、介護保険制度の改正に伴い、「壬生町社会福祉法人等利用者負担額減免措置」が、**「壬生町社会福祉法人等利用者負担額軽減制度」**に一部改正され対象範囲が変わりました。

介護保険法に基づく訪問介護、通所介護、短期入所生活介護及び指定介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）における施設サービス等を受けている人の**利用者負担分の１/４から１/２**の範囲で軽減になりますので、下記の全項目に該当する方は申請書に記入の上提出してください。

１　65才以上の者（第１号被保険者）で、町の要介護及び要支援認定を受けた者

２　**市町村民税世帯非課税**で以下の全てを満たす者のうち、**収入・世帯の状況・利用者負担等**を総合的に勘案し、生計が困難な者として町長が認めた者

①年間収入が単身世帯で150万以下（世帯員が一人増えるごとに50万円を加算した額以下であること。）

②預貯金額が単身世帯で350万以下（世帯員が一人増えるごとに100万円を加算した額以下であること。）

③居住家屋以外に資産を有しない者

④負担能力のある親族等に扶養されていないこと。

⑤介護保険料を滞納していないこと。

●申請方法

本人または家族等の方が所定の申請書に記入して町高齢対策課高齢福祉係へ申請してください。

●申請・問い合わせ先

町民生部高齢対策課高齢福祉係　☎0282－81－1830

平成17年地価調査
土地の標準価格を公表

栃木県知事から９月21日付けで平成17年地価調査基準地の標準価格が公表されました。

これは、国土利用計画法に基づいて、県知事が７月１日を基準日として調査したものです。この価格が民間の土地取引の目安となり、公共事業の用地取得の基準になります。

閲覧希望の方は、町総務部企画財政課へお越しください。

■調査基準日
平成17年７月１日

■基準地の価格
１平方メートル当たりの価格

第１種中高層住居専用地域

▼表町1928番2
〈表町11－46〉
41,000円

第１種低層住居専用地域

▼壬生丁字六美117番17
48,600円

▼緑町１丁目1022番24
〈緑町１－４－11〉
61,200円

第１種住居地域

▼至宝３丁目48番25
〈至宝３－４－６〉
47,900円

▼中央町327番3
〈中央町２－15〉
50,500円

▼安塚字宿内1928番外
15,700円

近隣商業地域

▼緑町２丁目1022番170
〈緑町２－５－６〉
75,000円

▼中央町1343番7
〈中央町７－18〉
66,300円

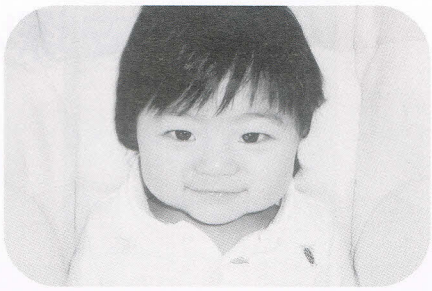
市街化調整区域

▼羽生田字前川原2346番4外
16,500円

▼下稲葉字釜ケ渕64番1外
13,900円

みんなの広場

新城亜花梨ちゃん（H13. 10. 25生）（下表町）
大　翔ちゃん（H16. 10. 25生）



神子谷桃太ちゃん（H16. 10. 14生）
（幸町２丁目）

金子颯汰ちゃん（至宝町南）
（H15. 10. 6生）

鈴木　葵ちゃん（H11. 3. 1生）（舟町）
楓ちゃん（H16. 10. 22生）

次回は12月生まれのアイドルを募集します。（締切11月22日）。写真はお返しします。

応募者多数の場合は抽選になることもありますのでご了承ください。

写真裏に住所、氏名、保護者名、生年月日、電話番号を書いて、役場企画財政課（直接或は郵便で〒321－0292壬生町通町12－22）または、稲葉・南犬飼各出張所、生涯学習館へ。

歴史民俗資料館だより

シリーズII

『みぶの史跡を訪ねて』
羽生田城址

「三重のおほりは　歴史を語る…」

この詩は羽生田小学校校歌の一節です。この校歌が語るように現在の羽生田小学校は、戦国期の城址に建てられた学校です。

羽生田城は壬生綱重により壬生城を守る出城の一つとして、文亀年間（１５０１～１５０４）に築かれたと言われています。

城は、黒川東岸の台地上にあり、南側は自然の断崖になっています。また、現在水田地帯となっている東側は、当時は大きな池があったと言われ、自然の要害によって敵の侵入を防いでいました。

天正14年（１５８６）、羽生田城は壬生氏と宇都宮・佐竹氏連合軍との間で「羽生田合戦」と称される激しい攻防戦の舞台となりました。その後、天正18年（１５９０）豊臣秀吉の小田原征伐の時、壬生氏は北条方に味方したため滅亡し、羽生田城も廃城となりました。

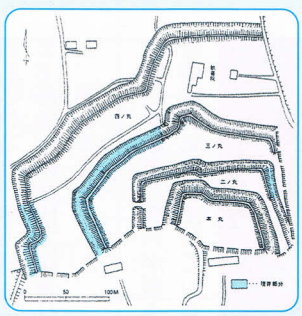
この当時、藤倉勘斎という家臣が同城を守っていたと古文書には記されています。

城は羽生田小学校から北へ広がるように四重の空堀と土塁を巡らせていましたが、今では小学校の北西に三重めの空堀と土塁の一部が残るのみで、現在町の指定史跡となっています。

次回は、羽生田地区にある古墳の中で、最も古い時期に造られた「下坪古墳群」について、紹介します。

問い合わせ／資料館☎82－8544

（羽生田バイパスから訪れると便利です。）



▲羽生田城復元図

▲羽生田城堀址

まちのわだい

祝　安塚小学校独立50周年

記念品を贈呈

安塚小学校（石川典枝校長、児童数346名）は今年、独立校になって50周年を迎え、９月１日、同校体育館において、歴代の校長やＰＴＡ会長、自治会長等を招待し、記念式典を行いました。

同校は、明治６年（1873年）に「助谷小学校立道学舎安塚分校」として設立され、昭和５年に南犬飼尋常高等小学校安塚文教場と改称し、校舎を現在地に建設。その後何度か改称し町村合併を経て、昭和30年９月１日、現在の安塚小学校として独立しました。現在までに約3,300人が卒業しています。

記念式典では、校長が「今後もみなさんに誇れる校風を築き上げていきましょう。」と式辞を、続いて佐藤直久ＰＴＡ会長が「みなさんの活躍でますます輝かしいものになることを期待いたします。」と挨拶の後、記念品が児童を代表して津久井豊君（６年生）に手渡されました。この後、低学年、中学年、高学年児童に分かれて、元気いっぱいに「お祝いの歌」を披露して、50周年を祝いました。

敬老のつどい
会場は元気なお年寄りでいっぱい！

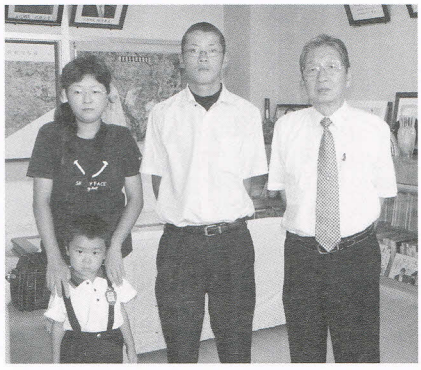
９月15日、壬生中央公民館において、「敬老のつどい」が開催されました。

式典では、清水町長から、「人間、夢と希望がなくなると年をとったと感じてしまいます。みなさん、楽しみを見つけて、長寿を満喫してください。」との話がありました。

続いて演芸では、午前に漫談、歌謡ものまねが行われました。また、午後には、大津美子さんの歌謡ショーが行われ、会場内の希望者とのデュエットや全員での、ヒット曲「ここに幸あり」の合唱が行われました。

笑いや歓声、歌声が響き渡り、会場は熱気に包まれていました。

国民体育大会で優勝を目指す
作新学院軟式野球部 中山祐基投手（３年）



10月23日から開催される岡山国体に出場する、作新学院軟式野球部の中山祐基投手（おもちゃのまち２丁目）が、大会を前に出場のあいさつに来町しました。

中山投手は８月に行われた全国高校軟式野球選手権大会出場をかけた北関東大会の決勝戦で、同点で迎えた７回から登板し、延長13回まで７回を失点０に押さえる好投をみせ、チームを勝利へと導きました。国体出場がかかった選手権大会では準々決勝で惜しくもさよなら負けを期しましたが、選考委員会で選ばれ国体出場となりました。

清水町長から「国体でも活躍されることを期待しています。」と激励されると、中山投手は「最後まであきらめないで頑張ります。」と、話してくれました。

認定農業者 新たに６名認定

認定農業者制度に基づき、新たに６名の農業者が認定を受け、９月６日に役場会議室において、認定書の授与式が行われました。

認定農業者制度は、経営規模の拡大や、生産方式・経営管理の合理化、休日制・給与制の導入など、向こう５年間の経営目標をまとめた「農業経営改善計画」を認定する制度です。

認定を受けると、農地取得や機械・施設などの取得資金が低利で融資を受けられるのをはじめ、税制の特例、経営相談や各種研修などが受けられます。

◆今回認定を受けた方々（敬称略）（　）内は目標とする営農類型

●黒子　徹　上　町（苺、水稲）　●出井　喜好　釜ヶ淵（苺、水稲）　●髙岩　清見　万　町（苺）
●甫坂　茂男　釜ヶ淵（米麦、椎茸）　●二ノ宮正行　助　谷（苺、水稲）　●田邉　昇　原　坪（苺、米麦）

打ち立てのソバでお年寄りに感謝 敬老ソバ会を開催（国谷本田）

民話を楽しむお年寄りのみなさん

国谷本田の長男会（栗原信明会長）は９月19日の敬老の日、真照寺において、地域のお年寄りを招いて敬老そば会を開催しました。

長男会では、長い間地域を育んできてくれたお年寄りに感謝し何か喜んでもらおうと、４年前から始めました。

長男会の会員でもあるそば名人の高山征夫さん、高岩基治さんら会員８名と奥さん方が、そばと天ぷら50食分を準備。毎年この日を楽しみにしていると言う、この日集まった15名のお年寄りは、心のこもった打ちたてのそばをいただいたり、壬生民話の会による昔話を聞いたりと、楽しいひとときを過ごしました。

第35回青少年健全育成 剣道錬成大会

９月４日、壬生中学校体育館
主催：壬生町少年剣道教室
参加40団体、参加総数97チーム

結　果

◆小学生団体の部
1位　蔵の街剣志会（栃木市）
2位　凌雲館緑剣道場（宇都宮市）
3位　壬生町少年剣道教室Ａ（壬生町）
3位　養心館道場（南河内町）

◆中学男子団体の部
1位　小山警察道場（小山市）
2位　壬生中学校Ａ
3位　養心館道場（南河内町）
3位　栃木市中央剣道場（栃木市）

◆中学女子団体の部
1位　蔵の街剣志会（栃木市）
2位　眞和館（宇都宮市）
3位　栃木市中央剣道場（栃木市）
3位　小山警察道場（小山市）

花いっぱいコンクール開催 睦地区コミュニティ推進協議会

９月４日、睦地区コミュニティ推進協議会（高橋悦子会長）主催による、「第７回花いっぱいコンクール」が行われました。

睦小学校の児童も審査に加わり、睦地区の各自治会を回り、自治会で管理をしている花の審査を行いました。

自治会により、公園の花壇に植えられているものや、道路沿いの場所に植えられているものなど、違いはありましたが、それぞれにきれいな花を咲かせていました。

児童も真剣に審査をしました

まちのわだい

“とちぎや”さん 感謝の気持ちを込めて
お年寄りに“うどん”を無償提供して26年

大字藤井の前宿坪自治会で飲食店を営む栃木勝さん（67才）は、藤井小学校の運動会に見えるお年寄りに“うどん”を無償提供して26年になります。今年も10月１日の運動会に60食を用意しました。

始められたきっかけは、お店をオープンして10年が経過した昭和54年のある日、お店の手伝いをしてくれている娘さんたちを見ていて、「商売を始めて10年を迎えることができた。また、こうして４人の娘たちを育ててくることができた。」と思ったとき、地元への感謝の気持ちがわいてきたそうです。そして、何か地元に恩返しできることはないかと考え、いつもお世話になっているお年寄りに喜んでもらおうと始めたそうです。

運動会場でお年寄りと談笑する栃木さん

お年寄りから「この間はご馳走様でした。うまかったよ。」と言われるとやってて良かったと思うそうです。今後も続けていきたいと話してくれました。

いざというときに役立てたい
「救急蘇生法」

説明を真剣にみつめる参加者のみなさん

壬生町体育協会（松本幸三会長）主催の「救急講習会」が、９月14日、町総合運動場・管理棟において、町体育指導委員や町体協部員等40名が参加して行われました。

ＡＥＤ（心停止した心臓に電気ショックを与える救命器具）が一般の方でも使えることを受け、今回救急講習会を実施しました。

参加者は、石橋地区消防組合壬生分署署員からＡＥＤの使用上の注意等の説明を受けた後、実際に人形を使って体験。「ＡＥＤは何回使っても良いのか。」等質問をし、真剣に取り組んでいました。また、実際に遭遇した場合は、「勇気を持って進んでやってほしい。」との話がありました。

延焼を防ぐ大切な初期消火
婦人防火クラブ消火競技大会

備え付けの消火器による消火技術の向上と消火器取り扱いの習熟等を目的とした、婦人防火クラブ消火競技大会が、９月16日午後７時から、町総合運動場で開催されました。

第22回を迎えた大会には、町婦人防火クラブ員他14名７チームが参加して行われ、競技は15メートル先で燃えている危険物火災を簡易消火器での消火を、タイムと競技者の態度や動作などで競います。

競技の結果、栗橋和江・坂田寿子チームが同点決勝の末、第１位となりました。

参加者のみなさん

競技結果

１位　栗橋　和江・坂田　寿子組	２位　佐藤　紀子・石井　厚子組	３位　阿久津洋子・大橋　和枝組
４位　関口有佳里・佐藤　由美組	５位　大藤とし子・大栗　トク組	６位　高山　啓子・山田キクエ組
７位　大栗　良子・山田真紗子組		

「栃木県民福祉のつどい」で表彰 おめでとうございます

８月31日、宇都宮市文化会館において開催された第11回栃木県民福祉のつどいにおいて、次の方々が表彰されました。

- 栃木県知事表彰（民生委員・児童委員功労者）
  山﨑文吉　髙間信義
- 栃木県社会福祉協議会会長表彰（民生委員・児童委員功労者）
  早乙女ハツ
- 栃木県身体障害者団体連絡協議会会長表彰（更生援護功労者）
  齊藤秀夫
- 栃木県母子寡婦福祉連合会会長表彰（母子寡婦福祉援護功労者）
  瀬戸洋子
- 栃木県共同募金会会長表彰（共同募金功労者）
  甫坂　清

齊藤　早乙女　甫坂　髙間　瀬戸　山﨑（敬称略）

田村さん　甫坂さん

田村優月（ゆづき）さん（壬生小５年）・甫坂陽子さん（壬生小６年） とちぎファームフェスタ2005 ミュージカル「ひとしずくのミルク」に出演

11月３日から６日までの４日間、壬生町羽生田で開催される「とちぎファームフェスタ2005」で公演されるミュージカル「ひとしずくのミルク」に、田村優月さんと甫坂陽子さんが出演します。

歌と踊りが好きで応募したというお二人。夜の９時を過ぎたこともあったという練習を経て、９月３日、県総合文化センターでの事前公演に出演。初めての出演に「緊張はしなかった。少し思うように踊れなかったけど楽しかった。」という田村さん。「どきどきしたけどとても楽しかった。」という甫坂さん。メイン公演は、11月３日、６日の両日、壬生町のフェスタ会場内で公演されます。是非、生の公演をご覧ください。

秋の家庭菜園を楽しもう！ 親子ふれあい教室

親子ふれあい教室が９月４日、助谷地内の畑で実施されました。

この教室は、生涯学習館が年間を通して実施しているもので、親子共同作業を通して、収穫の喜びと自然の恵みの大切さ、豊かな人間関係の醸成を図ることを狙いとして実施しています。

参加したのは町内の小・中学生の親子10組で、白菜の苗と大根の種を蒔きました。初めに作業の手順や今後の畑の管理の仕方などの説明を受けた後畑に入り、お父さんやお母さんと楽しそうに土にまみれていました。11月下旬頃、収穫できそうです。

公衆衛生事業発展に貢献 ６名 表彰を受ける

９月９日、第45回栃木県公衆衛生大会が栃木県総合文化センターで行われ、６名の方が表彰されました。

この表彰は、多年にわたり公衆衛生事業の発展のため献身的な活動を続けている方で、その功績が特に顕著である方を賞賛するものです。

保健衛生事業功労者（敬称略）

- 知事表彰（個人）医療　上野忠之／食品衛生　中根幸男
- 大会長表彰（個人）医療　島田克己／母子保健　荒川ノリ子／生活衛生　小沼とし子／生活衛生　安部晃与

豪華賞品がいっぱいのスクラッチ抽選会

おもちゃのまち駅前は大賑わい

フェスタ in おもちゃのまち

9月25日、おもちゃのまち駅東口を会場に、「フェスタinおもちゃのまち」が開催されました。「フェスタinおもちゃのまち」は、昨年、おもちゃのまち駅西口の電線地中化を記念して初めて行われ、今回で2回目となります。

会場には多くの模擬店が立ち並んだほか、おもちゃのまち幼稚園、国谷幼稚園、メリーランド保育園児の出し物や、睦小学校のコーラス、よさこい、わんわんショー、人気ゲーム機や自転車が当たるスクラッチくじの抽選会、おもちゃチャリティオークションなど、多くの催しが行われ、大勢の人で一日中盛り上がりをみせていました。

すこやかベビー・ご家族紹介

臼井　笙（しょう）ちゃんご兄弟（中泉）

町では、第3子以上の児童を養育している方に「すこやか子育て支援金」を交付しています。

※支援金の受給要件、申請方法等は、**町福祉課児童福祉係**（☎81―1831）へ

寄付

◆社会福祉協議会へ　（○数字は寄付回数）

日歌研師範連盟栃木県支部南地区合同発表会様②　3万8千787円

伏木美佐恵様㉘　5万円

羽生田西部親睦会様㊱　3千円

まちのうごき

10月1日現在

総人口	40,041人	（14）
男	19,628人	（20）
女	20,413人	（△6）
世帯数	13,601世帯	（27）

（　）内は前月比

11月の納税等

●国民健康保険税（5期）

●介護保険料（普通徴収・5期）

納期限　11月30日

私の作品

睦小　6年
村松　進太朗

未来に生きるわたし
「生物学者になったぼく」

睦小　6年
石崎　悠衣（ゆい）

未来に生きるわたし
「イラストレーターになったわたし」